



学校教育目標

# 第三中学校だより

気づき・考え・挑戦する ～新時代を生きる力を創造する～

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1  
TEL 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>  
相談室 TEL048-461-6698

令和6年7月1日発行

## 上半期と下半期

校長 近藤 克代

毎月発行される『学校だより』は、当たり前ですが、月の初めに配付されます。ですから、先月を振り返り、新しい月に思い(願い)を馳せながらこのページにメッセージをしたためています。特に今年6月(先月)は、学校行事(体育祭と学校公開日)とその他の取組(学校総合体育大会)、更に教職員の研修の一環である学校訪問もあり、振り返れば、学校全体が活気ある一方、慌ただしく過ごした日々であったかなと感じています。特に、6月3日に開催された体育祭では、中学生らしく勝負に拘った熱の入った姿だけではなく、失敗し遅くなってしまった選手(生徒)への励ましの言葉や拍手。そして、学年の枠を超えた応援をする姿から、強さと優しさを持った『三中生らしさ』が、随所に垣間見ることができた体育祭でした。さて、本日より7月が始まり、早々に1学期の期末テストが実施され、試験範囲を計画的に学習した成果が、テストで十分に発揮できるよう期待をしたいと思います。これらの点からも、新しい学年が始まり、学習内容だけではなく、様々な教育活動について、7月は1学期間をまとめる月となります。『見通し』と『振り返り』。物事を進めていくには欠かせない言葉です。4月に考えた1学期の見通しについて、結果を基に課題を見つけ出し、反省をしながら解決策を見つけていくなど、これまでの出来事を振り返ることは、次の2学期の準備のためにとっても大切なのです。今の私の心根としては、今月(7月)も皆(生徒、教職員)が元気に過ごせるように…と願っています。



話は変わりますが、先日、テレビで“上半期と下半期”について特集をしていました。学校は冒頭で触れたように、4月が始業なので、1月～6月を上半期。7月～12月を下半期。という言葉に馴染みが薄いかもかもしれません。しかし、今年1月1日に能登半島で大きな地震から上半期が始まったのは記憶に新しいかと思います。教員の中には能登半島まで足を運び、未だに復興の目途が立っていない地域もあるという現状に衝撃を受けたことを話してくれ、一日も早い復帰を心から願いました。予期できない大きな災害に備え、本校でも防災教育を進めているところです。災害への備えを「自助」「共助」「公助」の3つに分けるならば、学校ではまず「自助」。災害が発生したときに、自身の命を守る「自助」を学習します。本校では地震の発生を想定した防災学習を行い、机の下に潜って落下物等から身を守り、校庭までの避難経路の確認をします。通常の避難訓練ではありますが、この時間で生徒達が防災について学びながら、「自助」を土台にし「共助」の気持ちを育ててほしいと考えています。生徒手帳に「安全ハンドブック」が掲載されています。夏休み中を利用し、学校以外の場所で大きな災害に遭った場合、ご家族の集合場所は決めているでしょうか。そのような家族間での大切なことを書き込むページも「安全ハンドブック」にありますので、是非ご一読ください。

最後に、下半期(未来)の話へと続きます。7月19日に1学期が終了し40日間の夏休みとなります。学年により夏休みの過ごし方の目的が変わってきますが、今年の夏も暑さが非常に厳しいと予想されています。学校でも熱中症対策について、第一に取り組んでまいりますので、引き続きご理解と、ご家庭でも健康に留意され、少し早いのですが、暑中お見舞い申し上げます。☆7月24日からオリンピックが開催されます。本校出身の梶原悠未(かじわら ゆうみ)選手が自転車競技に出場します。応援しています。

